

第10回中央地区まちづくり協議会 ワーキンググループ

中央地区のまちづくり2024



登別市総務部本庁舎整備推進グループ

本日の進め方について

【1】前回の振り返り

【2】前回いただいた意見に関する事務局の考え方について

【3】本日の協議（中心地にある商業施設の活性化）

第9回ワーキンググループでのご意見

主な意見の内容

第9回ワーキンググループ
(令和5年12月19日)

<図書館協議会>

図書館をアーニスに移転する場合の課題点…

- 十分な面積の確保
- アーニスの耐震性能、耐過重
- アーニスのバリアフリー化

<ワーキンググループ委員>

- 図書館協議会委員等に参加いただいた理由を整理してほしい
- 協議会で方針を決定した後で、ワーキンググループで詳細を検討する方がいいのではないか
- 市が何か方針を示さないと永遠に議論するように思ってしまう

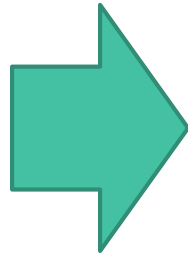
ワーキンググループ委員からのご意見

ご意見

●図書館協議会委員等に参加いただいた理由を整理してほしい

●協議会で方針を決定した後で、ワーキンググループで詳細を検討する方がいいのではないか

●市が何か方針を示さないと永遠に議論するように思ってしまう



ご意見に対する事務局の考え方

事務局の意図としては、市内でまちづくりに携わっている方から、アーニスに図書館を移転してはどうかという意見があり、ワーキンググループでの検討材料の1つとして紹介をさせていただいた。ワーキンググループでの協議において、図書館をアーニスに移転することに課題はあるものの、肯定的な意見があったことから、現実的に移転が可能なのかどうかを協議するために図書館に詳しい方から意見を聞く場を設けさせていただいた。

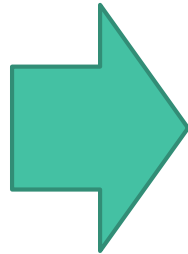
当初、中央地区まちづくり協議会を設置した際に、次代を担う若い世代のまちづくりに関する意見や要望などが反映できるよう、ワーキンググループと学生委員会を設置し、協議事項やスケジュールなどの大枠は協議会で協議したあとで、ワーキンググループにて具体的な協議を行ってきたところです。

市としましては、協働のまちづくりを推進するとともに、これまで中央地区のまちづくりや賑わいづくりに積極的に取り組んでこられた中央地区の事業者やまちづくり団体の皆様が、今後も主体的に取り組んでいただきたいと考えたこと、また、あらゆる可能性を排除しないためにも、現時点で市が協議会に対して方向性を示すことはせず、これまでの先達のまちづくりの取組や課題、市民が中央地区に求める将来像などを確認しながら、中央地区の未来に向け、多角的な視点から幅広い協議を行っていただきたいと考えています。

図書館をアーニスに移転する場合の課題点

課題点

- 十分な面積の確保
- アーニスの耐震性能、耐過重
- アーニスのバリアフリー化



課題点に対する事務局の考え方

現在の図書館本館とアーニス分館の合計面積よりも広いスペースを確保することが可能。

アーニスはH6年竣工の建物で新耐震基準であり、旧耐震基準の図書館本館より耐震性能は優れている。また、積載過重は図書館本館が上回っているが、配架しだいで機能移転は可能。

バリアフリー化に向けた改修を行うことで解消は可能。

WGにおける協議事項について

中央地区の活性化に向けた取組

①現庁舎、アーニス周辺環境整備

②中心地にある商業施設の活性化



【本日の協議事項】

③現庁舎跡地の具体的な利活用方法

アーニス空きスペースの活用に関する意見

【図書館を核とした案】

- 図書館＋フリースペース（飲食や勉強ができたたり、自販機を設置する）
- 図書館＋コワーキングスペース
- 図書館＋カフェ など

【図書館以外の案】

- カフェ、キッズスペース
- イベントや貸しオフィスなどに利用できるレンタル(フリー)スペース
- 集客力の見込める店舗の誘致 など

【参考】図書館を絡めたまちづくりの事例



【都城市の事例】

図書館を核とした複合施設

<来館者数(年間)>

2018年度 見込:27万人 ➔ **実績:110万人超**



【つがる市の事例】

イオンモール内に図書館を設置

<来館者数(年間)>

目標:20万人 ➔ **実績:約7か月で達成**



まちの活性化・にぎわい創出へ